

## 地域包括ケアシステム

# 誰もが暮らしやすいまちづくり

住み慣れたまちで

可能な限り暮らし続けられるように

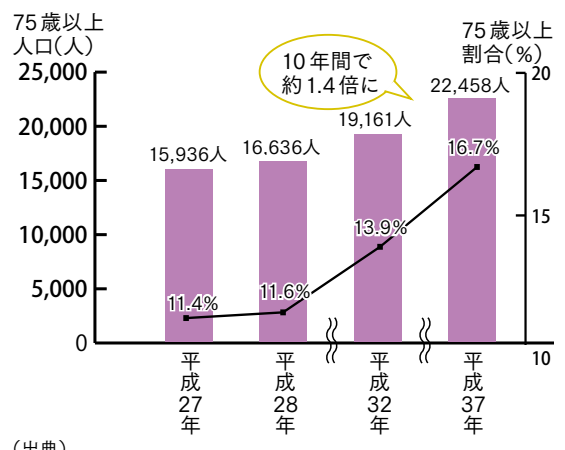
なぜ「地域包括ケアシステム」が必要？

### 1 後期高齢者人口が急増

市の今後の人口推計として、平成37年には医療や介護の必要性が高まる75歳以上の後期高齢者の人口は平成27年と比較して約1.4倍の約22,000人となる推計が出ています。

市では、介護サービスの提供基盤の整備など、着実に進めています。今後さらに高齢化が進むため、介護サービスだけでなく、さまざまな主体が参画して地域全体で高齢者を支える仕組みをつくっていく必要があります。

### 桑名市の後期高齢者の推移

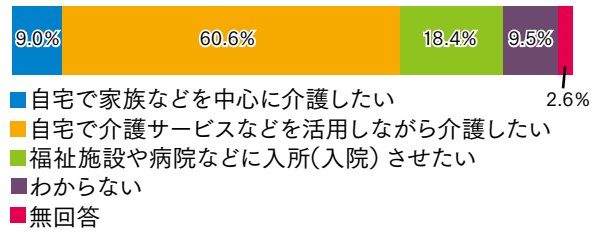


(出典) 平成27年：国勢調査人口等基本集計(総務省統計局)  
平成28年：市情報政策課資料(平成28年9月末現在)  
平成32年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

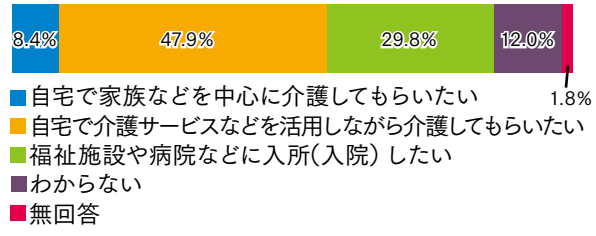
### 2 介護が必要になった際の自宅生活の希望

もし介護が必要となった場合に、どのような場で介護をしたいかということ、「家族に介護が必要となった場合」、「自分に介護が必要になった場合」に分けて調査した住民対象のアンケート結果があります。家族に介護が必要となった場合に自宅での介護を希望する人は約7割、自分に介護が必要になった場合に自宅での介護を希望する人は約6割にのぼりました。多くの人が、自宅で暮らし続けることを望んでいるのがうかがえます。

#### 家族に介護が必要になった場合の希望



#### 自分に介護が必要になった場合の希望



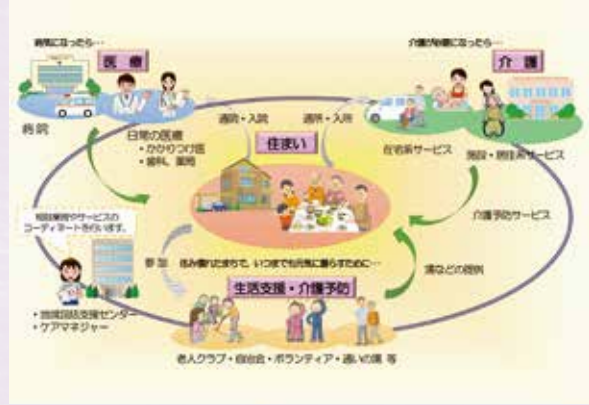
(出典) 桑名市地域福祉に関する市民アンケート結果報告書(平成25年3月)

### 「地域包括ケアシステム」の構築へ

これらの必要性を踏まえて、市民の皆さんと一緒に医療や介護などに関わる人も一体となり、高齢者を支える仕組みを作っていく必要があります。そのためには、それぞれが、それぞれの立場で、『高齢者が、住み慣れたまちで、可能な限り暮らし続けることのできる地域づくり』の実現に向けて、努力していく必要があります。これが「地域包括ケアシステム」につながります。

市では、この「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みを、今後さらに進めていきます。

### 地域包括ケアシステムのイメージ



見守り・支え合い・交流のあるまち

問 地域介護課 (☎ 24-1489 FAX 24-3133)

# 通いの場

## 紹介



今回はハンドベルを使って皆さんで楽しく演奏しました(前列中央が代表の和田さん)。

フェニックスげんきクラブの設立は、中央保健センターから「桑名いきいき体操」の紹介を受けたことや「通いの場」の大切さを知ったことがきっかけとなり、「この体操ならみんなできそうだ」と感じたことで始まりました。

「通いの場スタート応援事業」を利用して徐々に体操を覚え、通いの場の補助金を活用して道具を揃えました。

毎週2回、10人程の参加者が歩いて集会所へ集まり、桑名いきいき体操やリズム体操、時には歌をうたいながらのハンドベル演奏を

〔活動日時〕

火曜日・金曜日 午前9時～10時

〔活動場所〕

フェニックス自治会集会所

〔活動内容〕

桑名いきいき体操、リズム体操、おしゃべりなど

〔対象〕長島町福吉にお住いの人など

〔お問い合わせ先〕

世話人：和田さん(☎45-0546)

通いの場とは…

「介護予防」、「閉じこもり予防」、「健康づくり」のため、集会所などの場所で、地域の住民が運営する「地域住民の集う場」をいいます。

楽しんでいきます。

参加者は「通いの場に来ると、みんなに会えるのがいい」「体操を始め、猫背が治ってきたねと言われて嬉しかった」「頭も体も使わないとね」「具体的にはわからないけれど、何かしら良いと感じているから続けて通うのかな」などと楽しそうに話します。

また「せっかくだから体操のついでに散歩もしようか」「だったら団地の見回り隊をするのもいいんじゃない」と、活動内容についてのアイデアも次々と飛び交います。

今後は、年齢問わずに参加者が増えたらいいなと話します。

### フェニックスげんきクラブ

〈長島町福吉地区〉

## オレンジカフェを開催します

とき 4月14日(金) 午前10時～11時30分 場所 tsumugu～風の子スクエア～(桑部628-1)

問 中央地域包括支援センター(☎24-5104 FAX 27-3273)

## 高齢者用肺炎球菌ワクチン定期接種

高齢者用肺炎球菌定期予防接種の対象年齢に該当する人には、3月末にはがきで通知をします。

対象 次の①または②に該当する人。

①下記の年齢になる人

対象	生年月日	対象	生年月日
65歳	昭和27年4月2日生～昭和28年4月1日生	85歳	昭和7年4月2日生～昭和8年4月1日生
70歳	昭和22年4月2日生～昭和23年4月1日生	90歳	昭和2年4月2日生～昭和3年4月1日生
75歳	昭和17年4月2日生～昭和18年4月1日生	95歳	大正11年4月2日生～大正12年4月1日生
80歳	昭和12年4月2日生～昭和13年4月1日生	100歳	大正6年4月2日生～大正7年4月1日生

②60歳から65歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害や、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある人

▷過去に高齢者用肺炎球菌ワクチンの接種を受けた人は対象外となります。

期間 4月1日～平成30年3月31日 場所 市指定医療機関 料金 2,500円

▷広報くわな4月号と一緒に配布される桑名市健康づくり情報および市ホームページをご覧ください。

▷かかりつけ医以外の病院で接種される場合は、事前に主治医に接種についてご相談してください。

▷市外で接種を希望される場合は、事前に中央保健センター(☎24-1195)へご連絡ください。

持物 高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種の案内ハガキ、健康保険証、お持ちの人は健康手帳

▷ハガキが無い人は、接種できません。

問 中央保健センター(☎24-1195 FAX 24-3032)